

## 平成20年度（2008年度）事業報告（案）

第16期 平成20年（2008年）4月1日～平成21年（2009年）3月31日

### <昨年度を振り返って>

昨年度、ソムニードが15周年を迎えたなか、この3月で、一つの活動が区切りを迎えました。高山市の通称「空町」での活動です。空き家を利用し、地元と海外を含む「外」との交流の拠点として作ったセンターは、多くの人々が地域おこし、地域福祉、地方の過疎化などの課題を考える場として活用されてきました。名古屋などの大都会の若者たちの大いなる学びの場ともなっていました。海外からの研修生たちも、ここで多くの学びを得ました。しかしながら、建物の耐震構造上の問題、資金不足などの問題から、一応の区切りをつけ、センターを閉じることとなりました。このセンターは21世紀の最初の10年近く、何よりも、ソムニードにとって、日本の地元での活動を模索していく、学びの機会を与えてくれました。今日、ソムニードが、海外と日本と、同じようなエネルギーをそそいで活動し、そのことで評価をいただいているのは、この空町のセンターでの経験が土台となつてのことです。このセンターの活動については、別に報告書を出していますので、ぜひご覧下さい。

昨年度の終わりごろから、ソムニードが復活したことがあります。それは、海外での自主研修活動です。これまで、平成12年（2000年）および13年（2001年）に、国際開発を学ぶ大学院生を主な対象として、ソムニード主催の農村開発講座をインドで行ったことがあります。その後さまざまな事情から中断していました。その間、昨年度まで、外から依頼された研修は多く有りましたが、ソムニードが主催する研修がなく、その点、いろいろな場面で、ソムニード主催の海外での現場を使った研修をしてほしいとの要請を受けていました。そして、昨年度から、マスターファシリテーター講座というタイトルで、コミュニティ開発のエキスパートを養成する講座を不定期で開始し、昨年度は2回行いました。この講座のユニークなところは、共同代表の中田の主催する日本でのマスターファシリテーター講座と連動していることです。簡単に言ってしまうと、日本の講座の受講生のみが、インドでの講座を受講することができるのです。さらに言えば、日本で理論を学び、インドで実践を学ぶという構造になっています。講座の性質上、「少数精鋭」になりますが、現在まで、大好評の研修となっています。

最後に、昨年度は、財政的には非常に厳しい年となりました。これは、会計スタッフの献身的な作業にもかかわらず、一重にNPO団体としての、財政運営の未熟さから来て

います。代表としては深く責任を感じています。しかし、これは、ソムニードだけの問題ではなく、いまだ草創期にあると言っていい、日本の草の根の非営利団体が抱える問題でもあります。事務局のスタッフの頑張りだけでは、いかんともしがたいものでした。しかしながら、この問題は、すでに理事会で討議を重ね、各方面にも専門的な相談をし、解決策を見出しており、あとは21年度に実行するだけです。

昨年度は、このように、15周年記念事業も含めてアップダウンの激しい年でした。今年度からは、安定的運営を目指して頑張ろうと、スタッフ一同心を新たにしています。

## ①地域開発及び地域自立支援に係る事業

### ①-1 ネパール・マカワンプール地区における地域住民参加型森林保全事業

(事業コード：SOM-1/2/08-1)

平成19年度より開始した同事業は、本年度は第2年目となりました。年に2回、日本人スタッフがネパールに派遣され、同事業の研修と事業進捗モニターを行いました。また前年度に引き続き、水利事業の専門家 A.S.チャタジー氏（コルカタを拠点とする NGO の代表）を招聘し、ネパール人スタッフや対象村であるガティコラ村の森林保全を担う森林利用グループのメンバーたちの研修を実施しました。本年度は主に、村人自身による森林資源をはじめとする自然資源の調査とその調査結果をもとにした長期的な森林保全のための活動計画作りを行いました。ソムニードの研修を受けた森林利用グループのメンバーたちは改めて自分たちの村の資源を理解しました。そのことで、彼ら自身がイニシアティブをとって、地元の森林局の職員に森林の調査の依頼をするなどの活動も始まりました。

毎回、研修に参加してきたある森林利用グループのメンバーが語っていました。「自分たちで村の資源を知るための調査をし、森林保全のための活動計画を立てるなんて、とても時間がかかることです。しかし、たとえ時間がかかっても、この方法をソムニードから今、学んでおけば、長い目でみれば、自分たちの村の資源を自分たちで活用しながら守ってゆけるようになるのではないかと思うようになりました。」

※三井物産環境基金による助成（第2年目）

### ①-2 女性のイニシアティブによるコミュニティ開発

(事業コード：SOM-1/3/08-1)

オリッサ州セミリグダ地区に拠点を持ち、常に植林などで協力関係にある WIDA の傘下の団体、CeFHA の活動を支援しました。本年度は、アーンドラ・プラデシュ州ビシヤカパトナム県コタウラトラとパラワダの 6 か村で、21 の女性グループを通じて、社会的・経済的に弱い立場にある女性や子どもたちを対象とした次の活動を行いました。地元政府の病院の医師の協力を得て無料医療キャンプを実施、マイクロ・クレジットに関する研修、収入向上のための縫製技術指導や、地元の農作物を使つての食品加工技術指導、大工・左官のための基礎研修などです。また、毎月開かれる女性グループのミーティングでは、児童労働防止のワークショップも行われ、21 の女性グループすべてが、定期的に様々な活動や毎月のミーティングに参加しました。

#### ①-3 SHG（女性自助グループ）連合体を通じた女性の自立支援事業

（事業コード：SOM-1/4/08）

アーンドラ・プラデシュ州ビシヤカパトナム市内のスラムに暮らす女性たちの組織ビシヤカ・ワニタ・クランティ（略称：VVK）の管理費の一部をフォローアップとして継続支援しました。また組織運営に必要な経理や銀行運営、クラフト素材開発等のシステムづくりの研修を行いました。クラフト素材開発では、継続した研修成果が見え始め、日本から発注のあった通りの素材が、期日に間に合つて、発送できるようになりました。また銀行運営に関しては、ソムニードが継続して会計帳簿を初めとする記録付けをモニターし、毎月の運営委員会への指導を行いました。その結果、新たに同市郊外に建設された低所得者層を対象にした集合住宅（約 5,000 世帯）で、VVK 銀行の支店開設のための市場調査が実施されました。調査票づくり、調査そしてデータ入力までをソムニードによる研修を受けた運営委員会のメンバーが担い、VVK の女性たち自身が行う調査としては初めてのものになりました。

#### ①-4 地域住民主導による小規模流域管理（マイクロ・ウォーターシェッド・マネジメント）と森林再生を通じた共有資源管理とコミュニティ開発（通称マイクロ・ウォーターシェッドプロジェクト：JICA 草の根技術協力パートナー型）

（事業コード：SOM-1/MWS/08）

JICA 草の根技術協力事業（草の根パートナー型）として、平成 19 年からスタートした同事業は、本年度で第 2 年目となりました。第 1 年目から継続して、アーンドラ・プラデシュ州スリカクラム県のヒラマンダラム郡ゴトゥッパリ村、マーミディジョーラ村、

メリヤプッティ郡ポガダヴァリ村の3村で、村の自然資源を有効に活用しながら保全していくための研修を行い、実際に、水土保持のための様々な建設もスタートしました。また同事業では研修センターを建設し、平成20年10月にセンター開所式が開かれ、それ以降、交通の便の悪い村からやってくる村の人たちでも、宿泊施設を利用することで、より多くの研修に参加できるようになりました。ソムニードの指導により、3村では、この世で1つしかない彼ら自身の手による独自の「植物図鑑」の第一版も発行されました。

まずは村の人たちが本年度内に限った活動計画を作成し、それを実際に実践しました。ため池やチェックダムの堆積土の除去などの作業を、実際に距離を測り、面積や体積を算出し、作業記録や労賃の支払い管理を自ら行えるようソムニードは指導を行いました。本年度の活動計画とその実践の経験を活かしたかたちで、来年度以降の中・長期的な活動計画づくりも開始されました。

※同事業に関わる村の人たち自身の感動やつぶやきが満載の「～水・森・土・人～よもやま通信」（ブログ掲載）をご覧ください。

#### ①-5 アジア人配偶者のグループ活動を通じて構築する、在住外国人と農村地域が共生する地域モデルづくり

(事業コード：SOM-1/5/08)

飛騨地域に住む、中国人を中心としたアジア人配偶者と共に取り組む活動の2年目です。昨年度は地域で孤立したアジア人配偶者が、まずは仲間を見つける事を目指して、「華・HANA・Bulaklak の会（飛騨在住アジア人花嫁の会）」を立ち上げてグループ活動を行いました。今年度はステップアップして、グループ作りから、グループを活用しての社会参加に取り組みました。

具体的には、日本語コミュニケーション講座や家庭訪問、小グループ活動、生活体験講座などのグループ活動を通じて、アジア人配偶者が社会で暮らす力をつけること、地域の住民と学び合ったり、交流したりして、お互いの信頼関係をつくること、そして日本人側の、アジア人配偶者への理解を深めることをねらいとしました。また、地域の行政や地区施設との連携も進めていきました。

上記のような活動は全て、それぞれ単独で行うのではなく、地域づくりの活動だという視点を持ち、全てを関係づけながら総合的に実施するよう気をつけました。

今年度の活動を通じて、アジア人配偶者は着実に成長しました。仲間と共に地区行事に積極的に参加するようになり、難しい市役所の手続きも、仲間と一緒に行って解決し

ました。また、参加した日本人も、講座で知り合いになったアジア人配偶者経営の食堂を客として利用するとか、嫁いだ果樹園へ果物を購入しに行くなど、講座外での交流も生まれてきています。

## ②人材育成及び研修生受入に係る事業

### ②-1 ソムニード・職員研修（事業コード：SOM-2/1/08-1）

昨年度から引き続いた、JICA地球ひろば人材育成研修「組織力アップ！NGO人材育成研修」最終ステージとして、平成20年9月に、企業と国際協力NGOのパートナーシップを深めるための協働企画プレゼンテーション・コンペが開催され、ソムニードもコンペに参加しました。

また、同研修の成果物である、ソムニード国内事務局の中期計画（平成20年～平成23年）に沿って、すべての国内活動を進めました。7月31日、1月31日、3月31日には事務局でモニタリングを行ない定期的に活動を振り返りました。スタッフが互いに仕事を評価することで、めざすゴールの確認や今後の活動改善につながりました。

また、事務局スタッフの会計業務スキルアップのため、平成21年3月東京で開催の勉強会「NPO法人の会計基準をつくろう！～NPO法人の信頼性向上のために～」に参加しました。

### ②-2 ソムニード・インターン研修

（事業コード：SOM-2/1/08-2）

平成20年度は日本で5名、インドで1名のインターン生を受入れました。

高山では、海外と日本の地域をつなげていることに関心を持った方を中心に、男性1名、女性3名の方が地域の中で生活をしながら学んでいきました。このうち最長の方は6ヶ月間滞在し、後に会員支援者となってくれました。

インターンのように長期でなくても、活動に興味があるという方からの訪問は随時受け入れました。特に今年度は、華会活動に協力する日本人ボランティアの方が目立ちました。また、インターン受入れ基準を定め、期間や勤務条件等を整えました。

### ②-3 名古屋 NGO センター「次世代の NGO スタッフを育てるコミュニティ・カレッジ 2008」（通称：Nたま研修）受入

(事業コード：SOM-2/3/08)

例年通り、名古屋 NGO センター主催「次世代の NGO スタッフを育てるコミュニティ・カレッジ 2008」(通称：N たま研修)の国内研修を受入れ、今年が6回目となりました。期間は11月22～24日の2泊3日、場所は高山市で実施し、12名の研修生が参加しました。

今回のテーマは、「都会の暮らしと田舎の暮らし」。特に、学校の授業のように整理されたものでない現場の情報から、各研修生がいかにか課題を見つけるか、ということに重点を置きました。1日目は飛騨・世界生活文化センターでの講義、2日目は上宝町まんま農場訪問と研修、夜は「空町倶楽部」で華会活動についてのワークショップ、3日目は振り返りとまとめ作業を行ないました。

特に上宝町まんま農場の研修は、今後この方法とつながりで、過疎地域の課題を主眼に国内研修を進めていけるという感触を持ちました。都会から来た若者と、地方で地域づくりをがんばっている人々との出会いが、お互いよい学びであり、よい影響を与え合いました。

#### ②-4 マスターファシリテーター養成講座上級編フィールド実践トレーニング

(事業コード：SOM-2/4/08)

第1回の講座を平成20年12月に、第2回の講座を平成21年3月に各5日間の日程で実施し、合計4人が講座に参加しました。同講座は、参加型開発研究所主催の「マスターファシリテーター養成講座」で、研修受講経験のある参加者を対象にし、講座で学んだファシリテーション技術を、インド、アーンドラ・プラデシュ州スリカラム県の農村をフィールドとして、実践トレーニングを行うものです。クラスルームセッションで習った技術を、実際に南インドの農村の住民に向き合って応用するトレーニングを行います。和田信明(代表理事/海外事業統括責任者)が指導にあたりました。

※講座主催：ソムニード・インディア

### ③ 調査・研究等に係る事業

#### ③-1 森林セクター関連調査

(事業コード：SOM-3/2/08-1)

本年度8月に、前年度から継続で実施された国際協力銀行（現 JICA）の委託調査「インド森林管理研修施設強化・人材育成事業に係る案件形成促進調査」が終了しました。ソムニードでは、長年のコミュニティー開発の経験を活かし、インド環境森林省が実施する、森林局の現場職員のための研修施設と研修方法の改善計画に対して、実践的な提言を行いました。

#### ④ 国際理解の推進と啓発に係る事業

##### ④-1 ソムニード・スタディーツアー2008

（事業コード：SOM-4/1/08-1）

ソムニード会員および一般の人を対象としたスタディーツアーを計画し、平成21年2月の実施を予定していました。しかし、平成20年11月26日にインド同時テロ事件が発生し、経由地であるタイ・バンコクにおいても反政府組織による空港占拠事件が同時期に起きたため、今年度のスタディーツアーはやむをえず中止にしました。

ソムニードの活動地域において今回の事件の影響はありませんでしたが、インドおよびタイの政情は当時、依然として不安定であったため、その状況でツアーを実施して、日本の皆さんをインド現地にお連れするのはリスクが大変高いと判断しました。

##### ④-2 「未来のぎふ、グローバルぎふ」～世界とつながる食文化～

（事業コード：SOM-4/2/08-1）

「未来のぎふ、グローバルぎふ」は、岐阜県民の目指す国際協力・交流のあるべき姿を迫及する事業で、未来会館が主催し、ソムニードが事業全体の企画・運営を担当しています。今年で3年目の実施となりました。例年同様、メインイベントとパネル展示「未来月間」の二本立ての構成で、今年は10月18日にメインイベントを、8月、12月、2月に未来月間を開催しました。

今年のメインイベントは「世界とつながる食文化」と題して、「食文化」をキーワードにした、具体的で双方向的な国際協力・交流事業に仕上げました。実施にあたっては岐阜や愛知の市民活動団体の協力を得て、国際協力・交流に特別関心のない人でも十分楽しめて、イベントに参加した事で新しい何かを知って、考えて、帰ることができるように工夫しました。

延べ808人の参加がありました。岐阜県内で国際協力関係のワークショップを実施しても参加者が集まらないことがよくありますが、今回のワークショップは全て満員となり、大盛況でした。参加者からは、「世界の食事情が分かりやすく説明され、日本の今後の食生活を見直すもとを教えてもらったような気がします」「またやって欲しいです」などの感想を聞くことができました。

#### ④-3 愛知万博継承事業参加（2008年サラゴサ国際博覧会への出展）

（事業コード：SOM-4/2/08-2）

平成20年6月14日～9月14日までの3ヶ月間、スペインでサラゴサ国際博覧会が開催されました。市民参加の理念を愛知万博以降も受け継いでいこうと、地球市民村に出展したNGO13団体がユニットを組み、平成20年7月15日～21日までパビリオンを共同出展してきました。

NGOユニットのテーマは「Watering 水を遣る～つなぎ・育み・広げる～」で、各NGOの、水にまつわる取り組み、水に関する知恵や経験を持ち寄って、各団体の特徴を活かしたプログラムに仕上げました。ソムニードは、インド農村部の水くみから、森と人とのつながりを考えるステージプログラムや、水と森の恵みを使ったグローバルクラフト講座を実施しました。「私たちにできることはほんの少しだけど、できる事から取り組んでいきたいと思います」「水はみんなのもの、大切にしないと」など、スペインのお客さんはプログラムを真剣に受け止めて、感想を聞かせてくれました。

#### ④-4 ソムニード15周年記念事業

（事業コード：SOM-4/2/08-3）

ソムニードは、平成20年3月をもって、設立15周年を迎えました。これを記念して、9月28日～10月1日の4日間に渡り、高山市および岐阜市において、ソムニード設立15周年記念事業を開催しました。事業開催にあたり、ソムニード創立時からのパートナーである、ラマ・ラジュール氏と夫人のアルナ氏をインドよりお招きしました。海外活動紹介だけでなく、日本の地域活動を重ねあわせ、インドと白川村、大垣市の地域づくり活動者とのセッションを行いました。

4日間の記念行事を行い、延べ約350名の方に参加をいただき、節目の年にふさわしい事業となりました。また、この事業に対して皆さまにご支援をお願いしたところ、合計451,416円のご寄付をいただきました。

<日程>

**9月28日** トークショー「インドと日本、世界につながる地域づくり」および交流会

場所：飛騨・世界生活文化センター

パネリスト：M.ラマ・ラジュ、M.アルナ、坂忠男、田口節子 各氏

コーディネート：竹内ゆみ子

**9月29日** インド植林支援活動報告会・カレー試食会

場所：駿河屋アスモ店

**9月30日** 授業「みんなで育てた山王の森～インドのラマさんからの報告～」

場所：高山市立山王小学校

**10月1日** 15周年活動報告会「ラマ・ラジュ氏 大いに語る！」

場所：岐阜市 ハートフルスクエア G

#### ④-5 グローカルクラフト講座による国際協力と地域活動の連携事業

(事業コード：SOM-4/3/08)

インドの自然素材を用いたクラフトを作りながら、インドの生活文化や国際協力について学ぶ“グローカルクラフト講座”を、昨年に続き実施しました。年間 20 回、延べ 1,011 人が参加しました。高山、岐阜、名古屋での開催が中心でしたが、今年は初めて海外（スペイン）でも実施しました。言葉や文化の違いがあっても、参加した人はクラフト作りに熱心に取組んで、私たちが発信したメッセージを受け止めてくれました。

実施場所の広がりに加えて、今年は講座の進行役をスタッフ以外の方が務めるようにもなりました。ソムニードの活動や国際協力活動を一般に広めたいと思いつつも、伝え方が分からなくて一歩踏み出せずにいたボランティアさんたちが、グローカルクラフト講座という形を利用する事で、一般の人に国際協力について伝える第一歩を踏み出すことができるようになりました。実際に進行役を努めたボランティアさんからは、「教材や実物を使っの講座はとてもやりやすい！」と好評を頂きました。

インドでは、スラムおよび農村部の女性グループと連携して、引き続き素材の調達を行いました。

#### ④-6 インドと日本をつなぐ植林支援

(事業コード：SOM-4/4/08-1)

2007年度に引き続き、下記のような、森づくりを進めるための活動を行いました。

- ◆ 森づくりサポート支援（マイ・フォレスト含む）植林・育林事業地域：南インド、アーンドラ・プラデシュ州スリカクラム地域
- ◆ 企業の植林指定寄付が増加しました。平成 20 年度中部電力記念植樹券プレゼント企画、地元企業の駿河屋様、大阪の貿易会社池村商会様により、合計約 4,000 本の苗木相当分のご寄付を頂きました。植林場所：南インド、オリッサ州ボダマンジャリ村、アーンドラ・プラデシュ州マミディジョーラ村

#### ④-7 支援者へのお礼と会員関係業務

(事業コード：SOM-4/4/08-2)

「感謝月間」という特別期間を設け、会員・支援者の方へ向けていわゆる事業報告ではなく、気持ちを込めたお礼を伝えるための感謝メッセージを発信しました。

また、15周年の節目にあたって、会員制度の名称等をシンプルにし、平成 20 年 6 月より以下のように変更、実施しました。

- ・地域づくりサポート（旧、村のサンガム及び女性自助グループ支援）
- ・森づくりサポート（旧、森のトラスト植林支援及びマイフォレスト）

#### ④-8 ソムニード活動報告「印刷物とデジタルニュース（HP等）」

(事業コード：SOM-4/4/08-3)

設立15周年の節目を迎え、団体パンフレットのデザインを一新しました。キャッチコピーを、【「援助」じゃない。いっしょに、生きるために。いっしょに行動すること。】とし、よりソムニードの活動の本来の特徴を、多くの人に分かっていただけるよう努めました。

ニュースレターは6月発行「Sangham 4 5号」を最後に、デザイン、発行時期等を一新しました。新しいニュースレターのタイトルは、『土と風の森』としました。編集方針は、海外と日本の共通の課題、「持続可能な地域づくり」を伝えることができる紙面にしました。ちなみに、土は土地に固有の人や文化、風は外部からの新しい視点を意味し

ています。また、平成21年5月から希望者にのみニュースレターのデジタル配信を始めました。

#### ◆2008 年度発行の印刷物

- ニュースレター「Sangham」平成20年6月 45号発行
- ハガキ短信「土と風の森～地域づくり～」平成20年8月 1号発行
- ニュースレター「土と風の森」平成21年2月 1号発行（会報リニューアル版）
- 団体パンフレット（新版：青色三折）
- 小冊子「マンゴーの木の下で」（物語風活動エピソード集、15周年事業等で配布）
- 2007 年度年次報告書

#### ◆HP、ブログ

新しいソフトに替え、全面的に編集・デザイン等を一新しました。

#### ◆メールニュース配信

平成 20 年度で 2 年目を迎えました。スタッフと理事が事業以外の軽い話題を提供し、団体を身近に感じてもらうための内容です。月 1 回発行。

### ④-9 ソムニード・キャンペーン

（事業コード：SOM-4/5/08）

より多くの方にソムニードの活動を広報し、活動の賛同者を拡大するため、テーマを、「森と水」の関係として11月下旬に募金および会員拡大キャンペーンを実施しました。約1,400名にDMを発送し、協力団体や公共施設にはDM配布をお願いしました。

今年度のキャンペーンは、年末の1回のみだったにもかかわらず、寄付額は昨年度2回（夏と冬）のキャンペーンを上回る結果となりました。14%のリターン率で合計980,101円のご支援をいただきました。

### ⑤地域支援活動に係る事業

#### ⑤-1 地域活性化に関わる活動支援

（事業コード：SOM-5/1/08）

平成 21 年 3 月末日をもって、ひだ NPO 活動センター・空町倶楽部の活動は終了しました。主な理由は、建物の耐震性に問題があり、これ以上公共的に使い続けるには無理があると判断したためです。しかし、終了直前まで地域の方による月一回の集会室利用

があり、高齢化が進む空町地区において市民による自主的な地域活動の場として貢献できました。

終了にあたり、ソムニードとして8年間の活動を振り返り、報告書『国際協力と日本での地域づくりーひだ NPO 活動センター・空町倶楽部 支援活動を通してー』を発行しました。

上記以外の地域支援としては、引き続き高山市市民活動支援共同事務所「ぷらっとルーム」の活動にも協力しました。また、NPO相談業務も継続し、年間20件程度の相談業務を行いました。

また、団体として、各種委員会および会議等への派遣を以下のように行いました。

- 和田信明 岐阜県国際交流推進有識者会議 委員  
(特活) ぎふNPOセンター 理事長
- 竹内ゆみ子 JICA NGO人材育成研修検討委員会 委員長  
飛騨・美濃の観光を考える委員会 委員  
岐阜県協働事業推進検討委員会 委員  
岐阜県事務事業評価検討委員会 委員  
岐阜県NPO活動推進委員会 委員  
(財) 岐阜県教育文化財団 理事  
岐阜県河川整備計画検討委員会 委員  
(特活) 名古屋NGOセンター 理事
- 大塚由美子 高山市総合計画審議委員会 委員

また、団体として、2008年5月3日、岐阜県各界功労者知事表彰（国際関係）を受けました。

## ⑥その他法人の目的を達成するために必要な事業

### ⑥-1 知的貢献による協働事業

(事業コード：SOM-6/1/08)

以下の事業への参加、賛同、協力を行いました。

#### ■ 各種イベント、講演活動など

| 日時    | イベント名                    | 出演者<br>参加者    | 主催者       | 会場・場所                 |
|-------|--------------------------|---------------|-----------|-----------------------|
| 4月19日 | イベント「飛騨高山アース<br>ディ」ブース出展 | 高田尚子<br>和田あすか | 飛騨コンソーシアム | 飛騨・世界生<br>活文化セン<br>ター |

|       |  |                                      |                                    |                       |
|-------|--|--------------------------------------|------------------------------------|-----------------------|
| 5月4日  | イベント「春の清見クラフト展」ワークショップ                   | 上清水温子<br>和田あすか<br>高田尚子他              | ひだ清見観光協会                           | 清見町ウッドフォーラム飛騨         |
| 5月14日 | ラジオ（ヒッツFM）<br>「みんなの市民活動」                 | インターン                                | ヒッツFM                              | 高山市                   |
| 5月31日 | イベント「ふるさとの森づくり 県民の集い」                    | 竹内ゆみ子<br>高田尚子                        | 長野県林務部森林づくり推進課<br>中部森林管理局<br>長野市 他 | 長野市<br>飯綱高原           |
| 6月1日  | イベント「原山グリーンマーケット」ブース出展                   | 上清水温子<br>インターン                       | 高山市快適環境づくり市民会議                     | 高山市<br>原山市民公園         |
| 6月4日  | テレビ出演<br>ほっとイブニング岐阜<br>「外国人花嫁を支える」       | 高田尚子                                 | NHK 岐阜                             | 岐阜県                   |
| 6月5日  | 「在京アセアン各国大使との意見交換会」出席                    | 和田信明                                 | 岐阜県国際課                             | 岐阜市                   |
| 6月14日 | クラフトボランティア講習会                            | 竹内ゆみ子<br>他                           | 多治見国際交流協会                          | 多治見市<br>セラミックパークMINO  |
| 6月20日 | 講演「日本の開発経験 飛騨高山のまちづくり」地域主体の国際協力・岐阜定例会    | 竹内ゆみ子                                | 国際開発学会東海支部事務局                      | 飛騨・世界生活文化センター         |
| 7月30日 | 講演：南アジア研究集会シンポジウム                        | 竹内ゆみ子                                | 南アジア研究合宿                           | 岐阜市                   |
| 8月1日  | イベント「キッズパラダイス8 世界の遊びコーナー」ブース出展           | 上清水温子<br>他                           | 未来会館                               | 岐阜市                   |
| 8月2日  | イベント「夏休み子ども体験フェスタ」ワークショップ                | インターン<br>他                           | 飛騨コンソーシアム                          | 飛騨・世界生活文化センター         |
| 8月11日 | パネル展示「国際協力ってなに？～世界とつながる私たちのくらし～」         | 大塚由美子<br>和田あすか                       | 夢キッズ                               | 高山市<br>ショッピングセンター・パロー |
| 8月15日 | イベント「多治見国際陶磁器フェスティバル ドリームキッズ2008」ワークショップ | 竹内ゆみ子<br>他                           | 多治見国際交流協会/<br>ソムニード                | 多治見市<br>セラミックパークMINO  |
| 8月24日 | イベント「アジアンフェスティバル」パネル展示・ワークショップ 他         | 竹内ゆみ子<br>高田尚子<br>上清水温子<br>和田あすか<br>他 | 飛騨コンソーシアム/<br>ソムニード                | 飛騨・世界生活文化センター         |
| 9月10日 | ラジオ（ヒッツFM）<br>「みんなの市民活動」                 | 和田あすか                                | ヒッツFM                              | 高山市                   |
| 9月11日 | 慶応大学 長田ゼミ 講座                             | 竹内ゆみ子                                | 慶応大学 長田ゼミ                          | 飛騨・世界生活文化センター         |

|        |                              |                             |                          |                 |
|--------|------------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------|
| 9月23日  | サラゴサ博覧会報告会およびクラフトワークショップ     | 高田尚子                        | グローバルクラフト                | 名古屋市            |
| 10月4日  | 宿泊研修「共生のたねー地域からの海外協力」研修協力    | 竹内ゆみ子<br>高田尚子 他             | シャプラニール                  | 清見町ウッドフォーラム飛驒 他 |
| 10月24日 | イベント「ワールドコラボフェスタ 2008」ブース出展他 | 竹内知如 他                      | ワールド・コラボ・フェスタ 2008 実行委員会 | 名古屋市<br>久屋大通り公園 |
| 11月19日 | 講演「インドの環境とソムニードの活動」          | 竹内ゆみ子                       | 中部電力(株)                  | 名古屋市            |
| 1月25日  | イベント「大人のためのクイズラリー」ワークショップ    | 竹内ゆみ子<br>高田尚子<br>上清水温子<br>他 | 飛驒コンソーシアム/<br>ソムニード      | 飛驒・世界生活文化センター   |
| 2月1日   | 犬山市民活動交流フォーラム 2008           | 大倉亜也加                       | 犬山しみんてい                  | 犬山しみんてい         |
| 2月14日  | イベント「冬のキッズランド」チャリティーバザー      | 竹内ゆみ子<br>高田尚子<br>上清水温子<br>他 | 飛驒地域活性化協議会               | 飛驒・世界生活文化センター   |
| 2月20日  | 高山西ロータリークラブ定例会 講演            | 竹内ゆみ子                       | 高山西ロータリークラブ              | 高山市             |

## ⑥-2 スラウェシ地域開発能力向上プロジェクト委託業務（インドネシア）

（事業コード：SOM-6/2/08）

平成 21 年 1 月 9 日から 1 か月間、インドネシアにおいて実施されている JICA の技術協力事業「スラウェシ地域開発能力向上プロジェクト」において、ソムニードが事業委託を受け、中田豊一代表理事が、プロセス評価手法専門家として派遣されました。

また平成 21 年 3 月 8 日から 2 週間、同事業の運営指導調査団団長として、和田信明代表理事がコミュニティーファシリテーター育成指導を行うために派遣されました。

なお、このプロジェクトは、ソムニードが全面的に協力してきた JICA のインドネシア「市民社会の参加によるコミュニティ開発」（PKPM）プロジェクトで育成された人材を活用して実施されています。ソムニードとしては、今回の専門家派遣もインドネシアへの継続的な関わりの一環と捉えています。

# 2008年度 収支計算書

(2008年4月1日～2009年3月31日)

## <経常収支の部>

(単位:円)

| 科目 |                        | 2008年度<br>予算額 | 2008年度<br>決算額 | 差額         | 備考                |
|----|------------------------|---------------|---------------|------------|-------------------|
| ①  | 経常収入の部                 |               |               |            |                   |
| 1  | 会費収入 正会費               | 800,000       | 615,000       | 185,000    |                   |
| 2  | 寄付金収入 維持会費・サポート・一般寄付   | 8,700,000     | 5,321,811     | 3,378,189  |                   |
|    | 指定寄付                   | 12,000,000    | 11,604,150    | 395,850    | プロジェクト指定寄付        |
|    | 団体寄付                   | 500,000       | 0             | 500,000    | 企業からの植林等支援        |
| 3  | 事業収入                   |               |               |            |                   |
|    | ①地域開発及び地域自立支援に係る事業     | 0             | 0             | 0          |                   |
|    | ②人材育成及び研修生受入に係る事業      | 0             | 0             | 0          |                   |
|    | ③調査・研究に係る事業            | 0             | 0             | 0          |                   |
|    | ④国際理解の推進と啓発に係る事業       | 2,704,000     | 0             | 2,704,000  | スタディーツアー          |
|    | ⑤地域活動支援に係る事業           | 0             | 0             | 0          |                   |
|    | ⑥その他本人の目的を達成するために必要な事業 | 0             | 0             | 0          |                   |
| 4  | 補助金等収入                 |               |               |            |                   |
|    | 補助金                    | 0             | 0             | 0          |                   |
|    | 委託金                    | 15,346,000    | 18,840,124    | -3,494,124 | JICA・岐阜県国際交流センター他 |
|    | 助成金                    | 5,872,320     | 3,526,000     | 2,346,320  | 三井物産環境基金          |
| 5  | 緊急援助支援                 | 0             | 0             | 0          |                   |
| 6  | 雑収入 受取利息等              | 0             | 100,298       | -100,298   |                   |
|    | 経常収入合計                 | 45,922,320    | 40,007,383    | 5,914,937  |                   |
| ②  | 経常支出の部                 |               |               |            |                   |
| 1  | 事業費                    |               |               |            |                   |
|    | ①地域開発及び地域自立支援に係る事業     | 21,154,000    | 21,416,889    | -262,889   |                   |
| 2  | ②人材育成及び研修生受入に係る事業      | 385,000       | 580,695       | -195,695   |                   |
| 3  | ③調査・研究に係る事業            | 0             | 0             | 0          |                   |
| 4  | ④国際理解の推進と啓発に係る事業       | 11,027,000    | 5,969,068     | 5,057,932  |                   |
| 5  | ⑤地域活動支援に係る事業           | 564,000       | 708,633       | -144,633   |                   |
| 6  | ⑥その他本人の目的を達成するために必要な事業 | 10,093,000    | 9,833,973     | 259,027    | 海外コーディネート費を含む     |
|    | 事業費計                   | 43,223,000    | 38,509,258    | 4,713,742  |                   |
| 7  | 管理費                    |               |               |            |                   |
|    | 人件費                    | 3,800,000     | 243,855       | 3,556,145  |                   |
| 8  | 通信費                    | 600,000       | 16,346        | 583,654    |                   |
| 9  | 消耗品費                   | 200,000       | 6,704         | 193,296    |                   |
| 10 | 旅費交通費                  | 30,000        | 181,517       | -151,517   |                   |
| 11 | 法定福利費                  | 1,700,000     | 66,027        | 1,633,973  |                   |
| 12 | 福利厚生費                  | 30,000        | 352           | 29,648     |                   |
| 13 | 水道光熱費                  | 30,000        | 386           | 29,614     |                   |
| 14 | 広報費                    | 6,000         | 0             | 6,000      |                   |
| 15 | 会議費                    | 5,000         | 7,796         | -2,796     |                   |
| 16 | 什器備品費                  | 10,000        | 0             | 10,000     |                   |
| 17 | 事務用品費                  | 50,000        | 0             | 50,000     |                   |
| 18 | 新聞図書費                  | 35,000        | 45,049        | -10,049    |                   |
| 19 | 印刷費                    | 0             | 0             | 0          |                   |
| 20 | 営繕費                    | 10,000        | 24,500        | -14,500    |                   |
| 21 | 賃借料                    | 300,000       | 15,779        | 284,221    |                   |
| 22 | 保険料                    | 10,000        | 6,010         | 3,990      |                   |
| 23 | 租税公課                   | 2,000         | 234,580       | -232,580   |                   |
| 24 | 諸会費                    | 70,000        | 55,000        | 15,000     |                   |
| 25 | 支払手数料                  | 110,000       | 0             | 110,000    |                   |
| 26 | 振込手数料                  | 13,000        | 0             | 13,000     |                   |
| 27 | 振替手数料                  | 70,000        | 0             | 70,000     |                   |
| 28 | 支払利息                   | 300,000       | 0             | 300,000    |                   |
| 29 | 寄付金支出                  | 5,000         | 3,000         | 2,000      |                   |
| 30 | 雑費                     | 30,000        | 1,606         | 28,394     |                   |
| 31 | 予備費                    | 20,330        | 0             | 20,330     |                   |
|    | 管理費計                   | 7,436,330     | 908,507       | 6,527,823  |                   |
|    | 経常支出合計                 | 50,659,330    | 39,417,765    | 11,241,565 |                   |
| ③  | 経常収支差額                 | -4,737,010    | 589,618       | -5,326,628 |                   |

|   |              |             |             |             |  |
|---|--------------|-------------|-------------|-------------|--|
| ④ | その他資金収入の部    |             |             |             |  |
|   | 短期借入金収入      | 8,000,000   | 26,918,250  | -18,918,250 |  |
|   | その他資金収入計     | 8,000,000   | 26,918,250  | -18,918,250 |  |
| ⑤ | その他資金支出の部    |             |             |             |  |
|   | 短期借入金返済支出    | 36,000,000  | 44,000,000  | -8,000,000  |  |
|   | 委託事業未実施返戻金支出 | 0           | 13,277,502  | -13,277,502 |  |
|   | その他資金支出計     | 36,000,000  | 57,277,502  | -21,277,502 |  |
| ⑥ | 当期収支差額       | -32,737,010 | -29,769,634 | -2,967,376  |  |
| ⑦ | 前期繰越収支差額     | 32,737,010  | 32,737,010  | 0           |  |
| ⑧ | 次期繰越収支差額     | 0           | 2,967,376   | -2,967,376  |  |

<正味財産増減の部>

|   | 科目          | 2008年度<br>予算額 | 2008年度<br>決算額 | 差額          | 備考 |
|---|-------------|---------------|---------------|-------------|----|
| ⑨ | 正味財産増加の部    |               |               |             |    |
|   | 短期借入金返済額    | 36,000,000    | 44,000,000    | -8,000,000  |    |
|   | 正味財産増加額計    | 36,000,000    | 44,000,000    | -8,000,000  |    |
| ⑩ | 正味財産減少の部    |               |               |             |    |
|   | 当期収支差額(再掲載) | 32,737,010    | 29,769,634    | 2,967,376   |    |
|   | 什器備品減価償却額   | 0             | 464,893       | -464,893    |    |
|   | 短期借入金増加額    | 8,000,000     | 26,918,250    | -18,918,250 |    |
|   | 正味財産減少額計    | 40,737,010    | 57,152,777    | -16,415,767 |    |
| ⑪ | 当期正味財産増減額   | -4,737,010    | -13,152,777   | 8,415,767   |    |
| ⑫ | 前期繰越正味財産額   | -1,190,074    | -1,190,074    | 0           |    |
| ⑬ | 当期正味財産合計    | -5,927,084    | -14,342,851   | 8,415,767   |    |